

新時代の国土・地域づくりへの架け橋 ～九州と四国、そして本州をつなぐ最後のピース～

愛媛県

高規格道路

大洲・八幡浜自動車道



《直面する課題と社会の変化》

課題	人口減少や少子高齢化の進行、大規模災害の切迫
社会の変化	物流の2024年問題、コロナ禍後の生活スタイルの変化、デジタル化の進展、九州・四国の高規格道路整備の進展

大洲・八幡浜自動車道

新たな国土軸
(国土構造の変革)

×

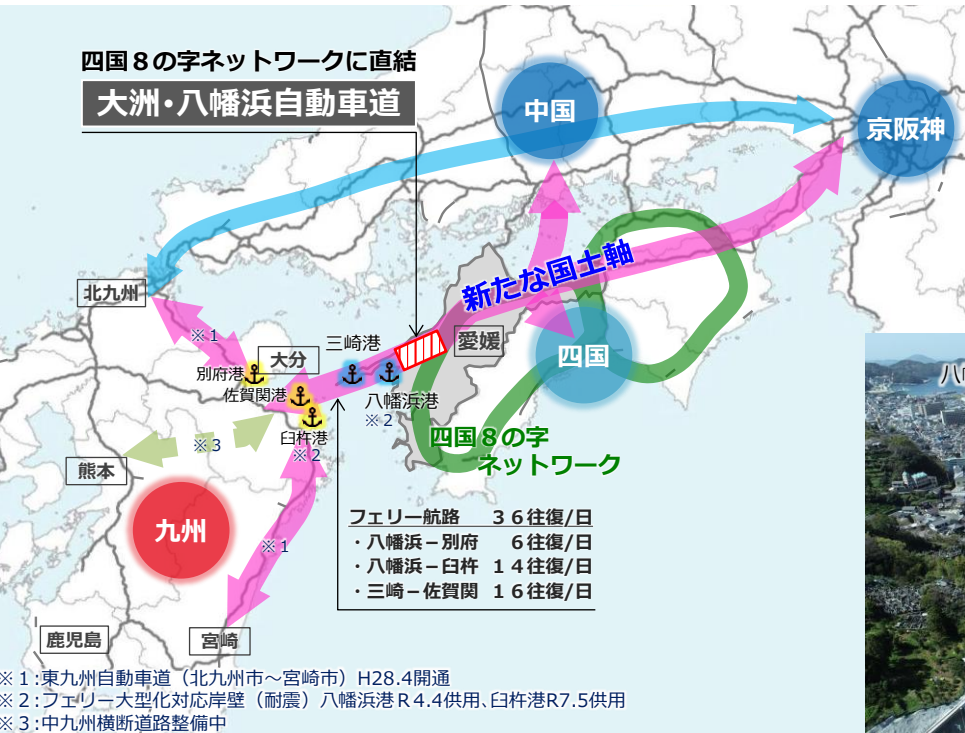
地方創生の道
(成長・活力)

+

命の道
(安全・安心)

国土の持続可能な発展+安心して住み続けられる地域の形成

○「新たな国土軸」として一層重要性が高まる九州と四国、本州をつなぐルート



■九州と京阪神間の運転距離と移動時間

起点	本州ルート	四国ルート
大分	約651km 約 7.8時間	約426km 約 8.2時間
宮崎	約849km 約10.7時間	約573km 約10.4時間
鹿児島	約873km 約10.0時間	約725km 約12.2時間

※1 各県庁所在地から中国吹田ICまで
※2 四国ルートの航路は「八幡浜港～臼杵港」
移動時間はフェリー乗船時間(145分)を含む



○地域産業の活性化、観光振興などを支援する「地方創生の道」

✓ 観光地がもっと近く、もっと身近に

県内観光客数上位5位(令和6年)	利用者数
1 松山城ロープウェイ <松山市>	133万人
2 きさいや広場 <宇和島市>	120万人
3 道の駅「八幡浜みなと」 <八幡浜市>	106万人
4 道の駅「天空の郷 さんさん」 <松山市>	97万人
5 道後温泉入浴客(本館・別館) <松山市>	93万人



○大規模災害時の広域避難・緊急輸送の軸となる「命の道」

✓ 大規模災害への事前の備え、災害時の広域避難や緊急輸送の円滑化による安全・安心の確保

